議題３

《インターネットモニターアンケート調査結果》

調査概要

（１）調査目的

本調査は、平成21年３月に予定している「千葉市食育推進計画」の策定にあたって、市民の実態を把握するために実施しました。

（２）調査期間

平成２０年５月１２日午前９時～１９日午前９時

（３）調査対象

対象モニター数1004人のうち回答モニター数516人（回答率５１．４％）

①性別

対象モニター数

	人数	割合
男性	439 人	43.7%
女性	565 人	56.3%
計	1,004 人	100.0%

回答モニター数

	人数	割合
男性	234 人	45.3%
女性	282 人	54.7%
計	516 人	100.0%

②年齢

対象モニター数

	人数	割合
10～19才	12 人	1.2%
20～29才	110 人	11.0%
30～39才	365 人	36.4%
40～49才	222 人	22.1%
50～59才	93 人	9.3%
60才～	202 人	20.1%
計	1,004 人	100.0%

回答モニター数

	人数	割合
10～19才	2 人	0.4%
20～29才	36 人	7.0%
30～39才	188 人	36.4%
40～49才	132 人	25.6%
50～59才	46 人	8.9%
60才～	112 人	21.7%
計	516 人	100.0%

③職業

対象モニター数

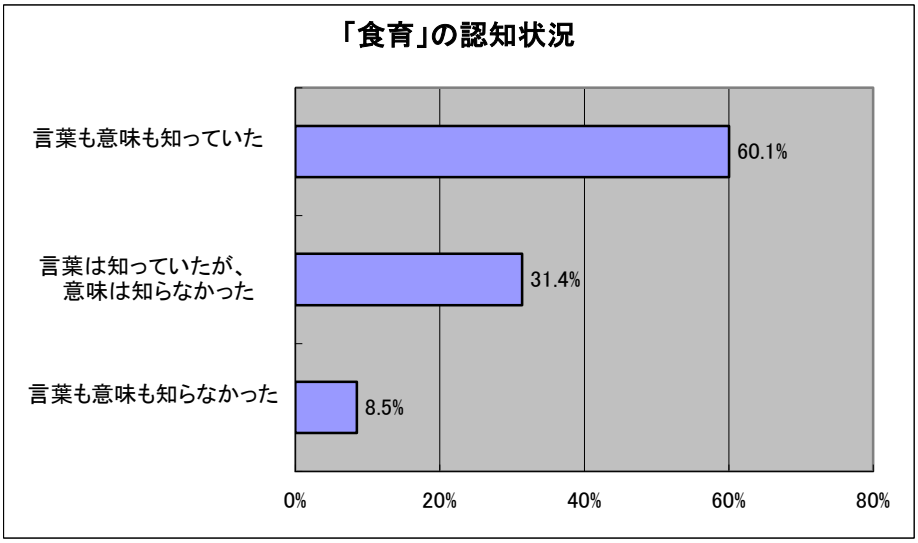
	人数	割合
農・林・漁業	0 人	0.0%
自営業	56 人	5.6%
会社員	292 人	29.1%
公務員（千葉市職員を除く）	30 人	3.0%
千葉市職員	24 人	2.4%
団体職員	25 人	2.5%
主婦	410 人	40.8%
学生	27 人	2.7%
無職	140 人	13.9%
計	1,004 人	100.0%

回答モニター数

	人数	割合
農・林・漁業	0 人	0.0%
自営業	30 人	5.8%
会社員	156 人	30.2%
公務員（千葉市職員を除く）	14 人	2.7%
千葉市職員	11 人	2.1%
団体職員	14 人	2.7%
主婦	210 人	40.7%
学生	7 人	1.4%
無職	74 人	14.3%
計	516 人	100.0%

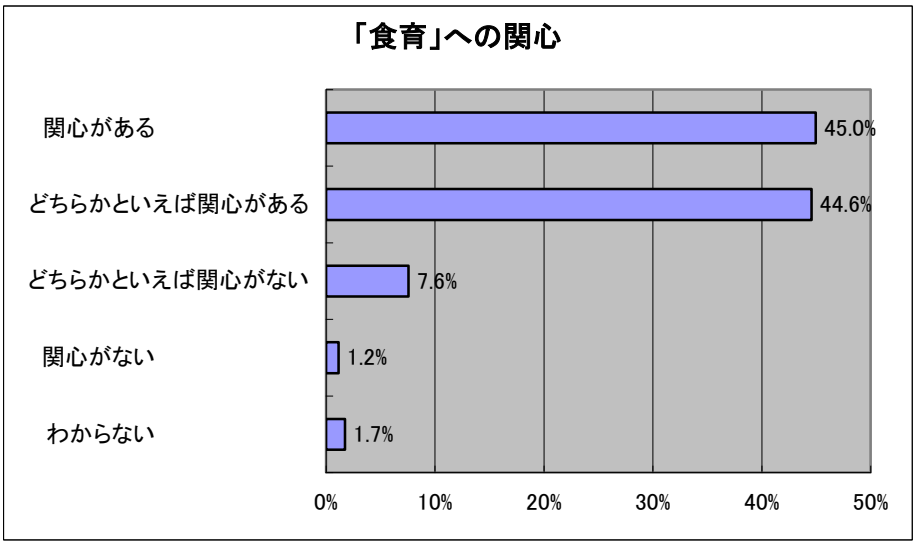
調査結果

●「食育」の認知状況



「食育」という言葉と意味の認知状況については、「言葉も意味も知っていた」が60.1％と最も多く、「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」は31.4％となっています。

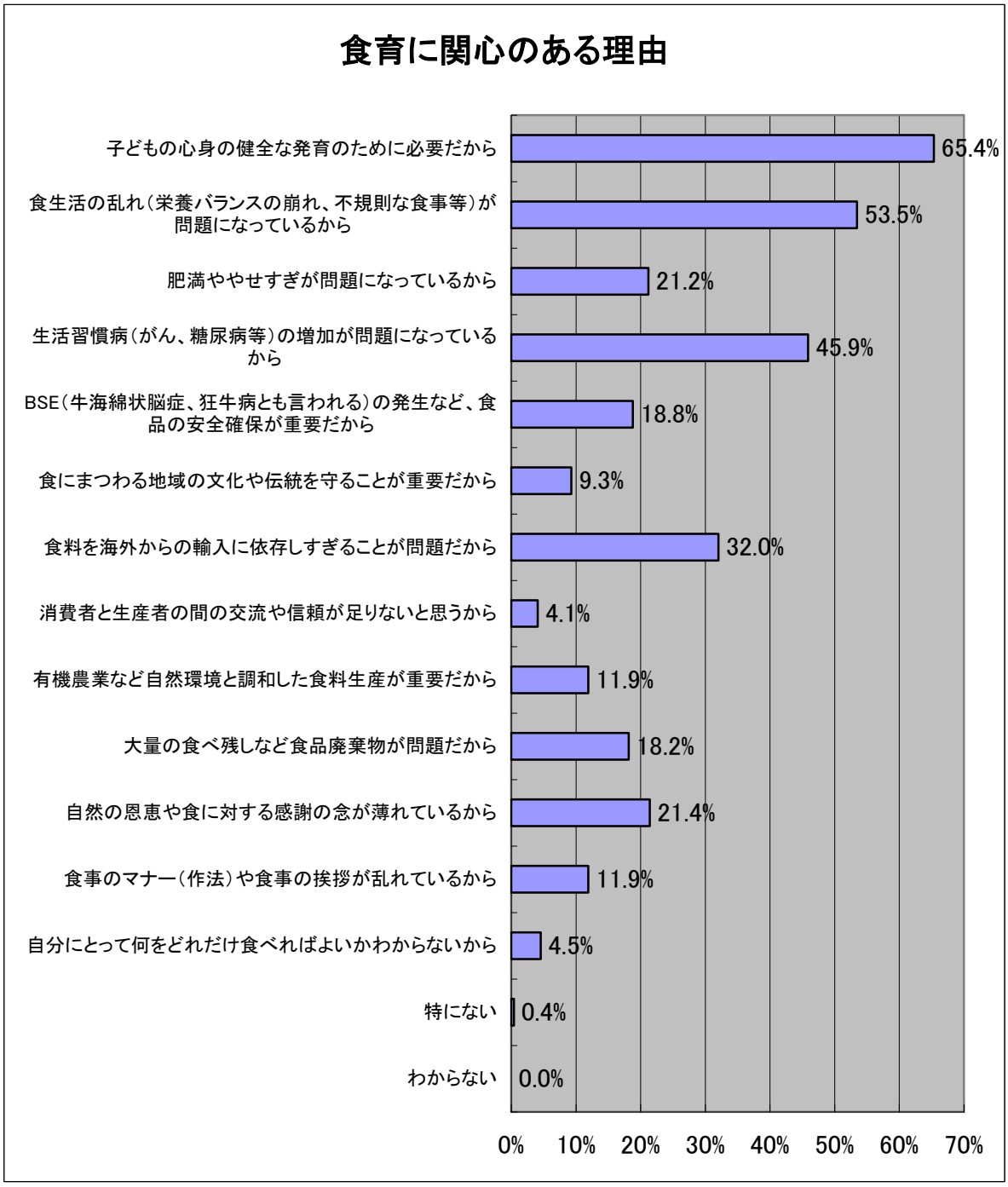
●「食育」への関心の有無



「食育」への関心の有無については、「関心がある」（45.0％）と「どちらかといえば関心がある」（44.6％）を合わせると、関心がある人は約９割であり、多くの人が「食育」に関心を持っていることがうかがえます。

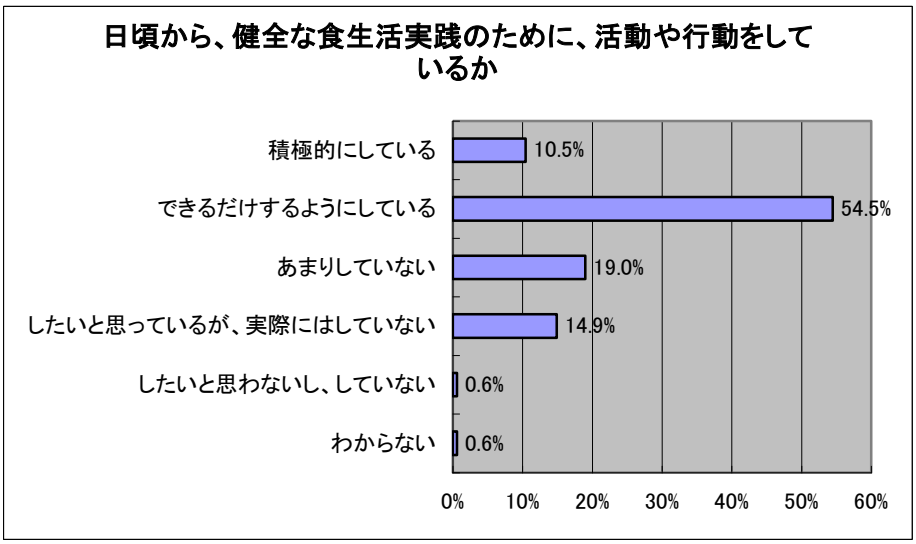
● 「食育」に関心のある理由

※食育に「関心がある」「どちらかといえば関心がある」と答えた方が回答（３つまで）



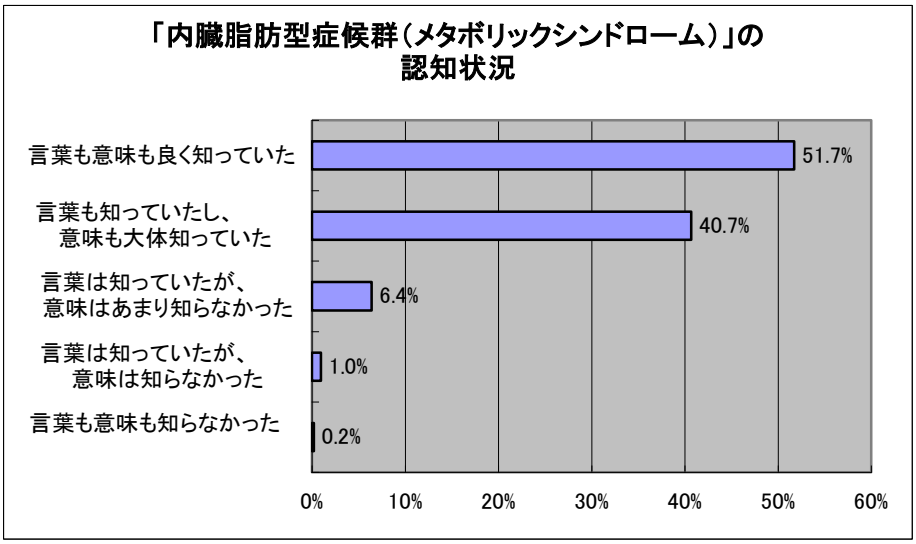
「食育」に関心のある理由については、「子どもの心身の健全な発育のために必要だから」が 65.4%、「食生活の乱れ（栄養バランスの崩れ、不規則な食事等）が問題になっているから」が 53.5%、「生活習慣病（がん、糖尿病等）の増加が問題になっているから」が 45.9%となっています。

●日頃から、健全な食生活の実践のために、活動や行動をしているか。



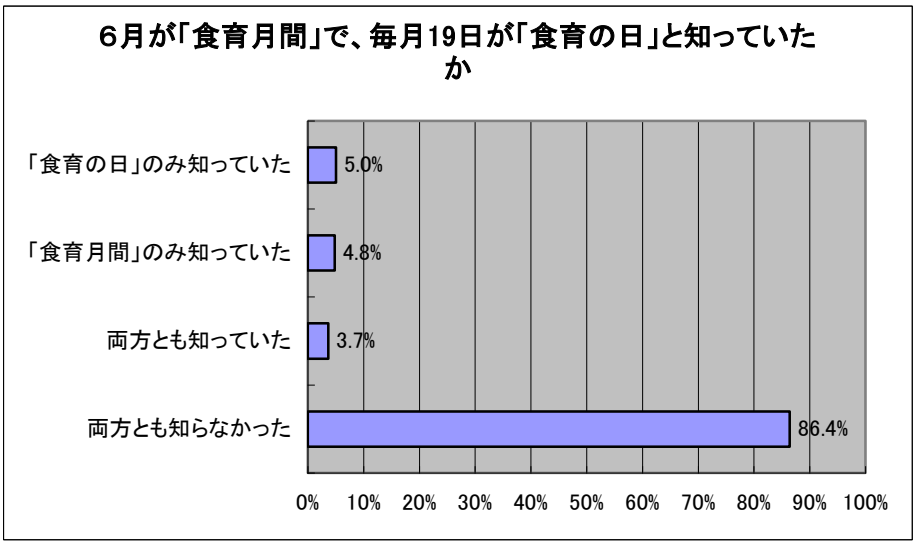
日頃から、健全な食生活の実践のために、活動や行動をしているかということについては、「できるだけするようにしている」（54.5%）と「積極的にしている」（10.5%）を合わせると６割を超えています。

●内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の認知状況



内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）を知っていたかということについては、「言葉も意味も良く知っていた」が51.7%、「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」が40.7%であり、よく認知されていることがうかがえます。

●６月が「食育月間」で、毎月 19 日が「食育の日」と知っていたか。



６月が「食育月間」で、毎月19日が「食育の日」と知っていたかということについては、「両方とも知らなかった」が86.4%と８割を超えており、あまり認知されていないことがうかがえます。